

一般財団法人京都ユースホステル協会

2013年度事業計画書

期間：2013. 4. 1 - 2014. 3. 31

一般財団法人京都ユースホステル協会は
新しい旅と、旅する青少年の健全な成長を応援します。



〒616-8191 京都市右京区太秦中山町29 宇多野 YH 内
TEL：075-462-2312 FAX：075-462-2289
<http://www.yh-kyoto.or.jp/> E-mail：kyh@yh-kyoto.or.jp



はじめに

東日本大震災以後、外国人旅行者の回復や地域での連携、資源を生かした新たな旅の魅力づくりや変化に対応できる運営や事業モデルの確立に取り組んでおりますが、財政や組織運営の安定等、まだまだ課題を残しております。特に、固定経費の増加などにより、収支の悪化がみられます。

2013年度は組織を担当業務別組織から機動的連携組織にし、財務的な観点から、業務量と収益率が見合わない事業や収入を産まない間接業務などは、機能する限りにおいてコンパクトで効率的に、事業収支を安定させることを目指します。

同時に、協会経営基盤の安定を確立するために、長期的な視点での施設運営に取り組み、事業を成長させ、ユースホステルの社会的な役割を高める活動に取り組みます。

また、世界的な動きとして、国際ユースホステル連盟を中心に、ITの活用、国際的な青少年のグループ体験学習旅行の利用促進、イメメンバースhip（国際ユースホステル連盟が行うオンライン入会会員制度）による会員や宿泊者の拡大、ユースホステル運営の質の向上や環境に配慮した運営など、今後のユースホステルの成長や価値を高める取り組みがすすんでおります。

当協会としても、これらの世界的な動きとの連動を第一に考え、これまでに取り組んできた事業の中から今後の成長が見込まれるものを絞り込むと共に、効率的に人や時間、資金を投入して、収支や財務の改善を図り、ユースホステルの長期的に安定した運営やユースホステル活動の成長を促進させるための具体的な目標達成に取り組んでまいります。

業務執行理事 高田 光治

目次

はじめに	2
事業方針	2
I. 重点目標	2
II. 実行指針	2
事業活動：目標と内容	
I. ユースホステル活動および関連事業 … 3	
(1) ユースホステル活動	
(2) ユースホステル関連活動	
II. 指定管理事業 … 4	
(1) 宇多野ユースホステル	
(2) 天橋立ユースホステル	
予算	5
組織概要	6

事業方針

I. 重点目標

- 1) 機動的組織の定着。
- 2) 社会ニーズに応え続けるユースホステル活動の構築。

II. 実行指針

- 1) 世界(海外)と連動。
- 2) 新しい「旅」関連事業を開発し催行。
- 3) 実行体制(外部含む)の整備。

事業活動：目標と内容

I. ユースホステル活動および関連活動

(1) ユースホステル活動

各種イベントの提供をWEBと連動させた情報発信を行い、ユースホステルの認知度向上や宿泊、事業参加へとつなげ、延いてはユースホステルのファンとなるコミュニティの創出を行います。これまでの継続事業については、最適な人材活用を念頭に置き、具体的に実行してきた結果を積み重ね、柱となる事業構造を確立できるよう注力します。

【事業分野別目標】

- プラットフォーム型（事務局型）事業構造構築と試行
- イベント参加者数延 12,000 名
- メールマガジン登録者数 5,000 名

1) ユースホステル運動普及活動ならびに体験活動

1. ユースホステル活動ならびに体験関連イベント

- 旅・海外志向の青少年を巻き込んだイベントの実施
 - ・「旅 days2013」
学生や各種団体、企業と連携したフォーラム型イベント
 - ・留学、ワーキングホリデー等テーマ別トークイベント
- 子ども向け事業の継続
 - ・既存事業（ネイチャーキッズ、アスレンドジャー、フレンドステイ等）

2. ユースホステルを通じた交流創出活動

- 宿泊者同士、宿泊者と京都に住む方が交流する場の提供
 - ・エブリデイワン（宇多野ユースホステル）
- 就労を通じた社会経験と自己研鑽の場の提供
 - ・大学生インターンシップ：立命館・大学コンソーシアム
 - ・外国人インターンシップ：日独平和フォーラム・CIEE
 - ・中学生チャレンジ体験、総合支援学校、ヘルパーの受入等
- 地域と世界をつなぐお祭りの実施
 - ・ワールドUTANOマルシェ

2) 地域や海外と関わる旅（ホステリング）事業

1. 京都をフィールドとした旅プログラムの提供

- 旅のプラットフォーム「京都たびたび」の立ち上げと体験プログラムの集約・造成
(まいまい京都、百人一首、ファミリー万歩、各種体験等)
- 外国人向けプログラムの販売と予約サイトの共同運営
(共同運営企業：Meet Us 等)

2. 青少年向け旅プログラムの提供

- 語学留学の紹介
- 海外インターンシッププログラムの紹介

3. 手数料収入事業の拡大

- hi-hostels プッキングセンターの拡大
- アフィリエイト収入の獲得
- 海外に受入先のあるツアー紹介
 - ・マンチェスターユナイテッドサッカー体験
 - ・カナダトレッキング等

(2) ユースホステル関連活動

食事提供では、数名から 170 名まで、アレルギーやベジタリアン、宗教的配慮など、提供する数や内容が多様化しています。そういった状況にも臨機応変に対応し、ニーズに応える食事提供に努めます。

また、今年度より厨房専属の職員を配置することで、提供メニューの継続的改善、接客・サービスの質や衛生管理意識の更なる向上に取り組みます。

それらの基本的な取り組みを再度徹底することにより、摂取者の満足を維持した上で目標の提供数達成を目指します。

【事業分野別目標】

- 食事提供数：(夕食) 19,050 食 (朝食) 29,690 食
- アンケート満足度評価：4.0 点以上 ※5 点満点

1) 食事の促進販売

- 各メニューの内容と原価率を見直し
- 日々の売れ残り管理や毎月の棚卸によるロスの削減
- 季節的なサイドメニュー販売の試行

2) 運営体制の見直し

- 食堂運営専門の職員の配置によるマネジメント力の向上
- 職員も提供に関わることによる効率化

3) サービスや衛生管理の徹底

- 調理に関わるスタッフの衛生管理意識の指導・向上
- 一つひとつのサービスの見直しと改善
- 宿泊者からのニーズに応えるサービス提供や物品販売



事業活動：目標と内容

II. 指定管理事業

(1) 宇多野ユースホステル

指定管理者第2期3年度目となる2013年度は、接客・サービス面でも宿泊者から良い評価を得られるような質の高い施設運営を行い、目指している宿泊実績の達成に努めます。

また同時に、今後起こる利用料金制といった新しい運営形態でも、自立的・安定的に運営を継続出来るよう、体制や業務他の見直しや工夫、施行を計画的に行います。

年々、地域の中で期待される役割は大きくなりつつあります。そういった求められる期待にも応えながら、そして地域の協力も得ながら、旅行者にも地域の方にも求められる拠点施設になることを目指します。

【事業分野別目標】

- 宿泊者数：36,000名
- 国際ユースホステル連盟利用者満足度評価
“Most Comfortable & Most Friendly 部門”でのダブル受賞
- 利用料金制を想定した施設運営へのシフト

1) 宿泊誘致

目標の年間宿泊実績達成を目指し、多様な取り組みを計画的に遂行します。特に、外国人や日本人青少年層の宿泊を増やす取り組みに力を注ぎます。

- a. 宿泊増を目指す層を狙った宿泊特典や割引の実施
- b. 小学生から高校生までの体験型宿泊事業の実施
- c. 閑散期対策の準備と計画的実行

2) 新たな運営スタイルのシフト

今後、利用料金制によるユースホステル運営にかわった時でも、安定して運営を継続できるように、運営の体制から日常的な作業まで、全ての面で見直しと改善を行います。

- a. 職員を中心とした運営や取引業者の見直しによる経費削減
- b. 部門を越えたユースホステルの一体的運営
- c. 日常業務の集中と選択による効率化

3) 質の高い滞在の提供

居心地の良い施設や空間といったハード面だけでなく、楽しみある機会提供といったソフトの充実も図り、総合的に満足度の高い滞在を提供します。

- a. 宿泊の満足度を高める交流イベントの継続実施
- b. 日本の、京都のホンモノを楽しめる体験機会の提供
- c. 様々なトラブルに対してのリスクマネジメント能力の向上

4) 地域との連携・協働

地域の公的施設として、旅行者だけでなく地域の方にも求められる施設を目指します。

- a. 地域や行政機関と連携した災害時の初動体制の確立
- b. 地域の魅力を再発見するイベントやユースホステルの持つ資源を活かした地域貢献事業の実施

(2) 天橋立ユースホステル

天橋立ユースホステルは、持続可能な地域の体験や滞在交流型観光等を推進するモデルユースホステルを目指します。

そのために、公共的な体験交流観光等の拠点として、地域で活動する団体や施設、人材とのネットワークを広げ、地域の魅力ある資源を発見、開拓すると共に、旅行者に対して環境への理解促進や保全活動、地域の歴史や文化への関心を高め、固有の文化等に対する尊重の態度を養うプログラムや事業を行ないます。

また国際的なネットワークを活用しつつ、観光協会や案内所等、地域と連携しながら、外国人旅行者の天橋立地域へ誘致を図ります。

【事業分野別目標】

- 宿泊者数：3,300名
- 外国人宿泊者 480名
- 各種団体や施設と連携した誘致活動 3回以上
- 天橋立地域での新規プログラム・ツアーの開拓 2件以上
- 新しい利用団体の誘致 3件以上
- 地域の資源やプログラムを活かした利用者 100人以上

1) 安定したユースホステル運営の確立

利用実績や収入に合った持続的な運営を可能にする体制を確立するために効率的な運営に取り組みます。

- a. 組織内部の各担当と連携した宿泊誘致

2) 地域資源を活用した体験やツアー、プログラムの開発・活用

周辺地域への誘客や施設利用、旅行者と住民との交流を図ります。

- a. 地域のグループや団体、観光協会等との連携したガイドツアーや体験プログラム、ウォーキング等の実施
- b. 「ここよみ」等のwebサイト活用

3) 各種団体や教育機関を対象した宿泊誘致

サイクリングやウォーキングのグループや協会、大学のゼミやサークルを対象に、ウォーキング事業やゼミのフィールドワーク、体験学習等での利用や滞在の誘致を図ります。

4) 京都建築大学校や京都伝統大学校等との連携強化

専門機関との連携による地域や施設の魅力作り、地域の資源を活かした取り組みをします。

5) HI-Q等のマネジメントシステムの活用

運営の質の向上や環境に配慮した持取組みを促進するマニュアルの作成とそれに基づく継続的な改善の取り組みを行ないます。

6) 外国人旅行者の誘致（特に青少年グループ・教育旅行）

- a. 大学の留学生課や留学生寮、国際交流団体への告知
- b. 学校や団体での教育旅行、指導する教員等への告知
- c. 主要都市にあるゲストハウスやユースホステル等への告知
- d. 海外の予約サイトやHihostels.comを活用した告知
- e. 海外からの研修生等を受入れ、学校訪問や地域交流に取組む

予算

I. 概要

(1) 予算概況

12年度決算見込みは前年度と比べて、若干の改善は見られるものの、依然厳しい状況が続いています。

13年度はこれまで取り組んできた経費の見直しに加え、全事業的な組織の組み換えにも着手し、収支改善に努めます。

これらの活動により、2013年度経常増減額（経常利益）は、8,060,000円を予定しています。

(2) 公益目的財産額について

公益目的財産額（移行前の法人が税制上の優遇などにより法人内部に留保した財産）は、12年度決算見込みを48,334,000円になる予定です。

13年度も引き続き京都府に提出しております、公益目的支出計画に基づき、公益目的事業を実施します。公益目的支出計画とは、公益目的財産額を0円するための計画であり、当協会は2019年度末にこの計画は完了する予定です。

II. 経営実績の推移

	09年度実績	10年度実績	11年度実績	12年度決算見込	13年度予算
経常収益（収入）	203,096,000	192,221,000	194,148,000	188,874,000	184,311,000
事業推進業務	63,257,000	64,854,000	62,046,000	58,264,000	58,063,000
ユースホテル運営業務	134,195,000	123,513,000	128,861,000	127,494,000	123,993,000
組織運営業務	5,644,000	3,854,000	3,241,000	3,116,000	2,255,000
経常費用（費用）	186,889,000	187,191,000	194,729,000	188,570,000	176,251,000
事業推進業務	45,036,000	58,635,000	59,066,000	53,802,000	46,868,000
指定管理業務	127,723,000	118,150,000	121,077,000	118,842,000	117,714,000
組織運営業務	14,130,000	10,405,000	14,486,000	15,926,000	11,926,000
当期経常増減額（経常利益）	16,208,000	5,030,000	▲580,000	304,000	8,060,000
経常外増減額（経常外利益）	▲6,870,000	0	▲16,925,000		
当期正味財産増減額（純利益）	9,338,000	5,030,000	▲17,505,000	304,000	8,060,000
正味財産期末残高	60,936,000	65,966,000	49,460,000	49,764,000	57,824,000

※ 11年度の経常外増減額は、有価証券（国際復興開発銀行債）の売却によるものです。

【内公益目的事業】

	11年度	12年度見込	13年度予算
公益目的財産額（期首）	56,453,806	52,620,174	48,334,174
公益目的収支額	3,833,632	4,286,000	※7,424,000
公益目的財産額（期末）	52,620,174	48,334,174	40,910,174

※ 13年度公益目的収支差額は、京都府へ提出した公益目的支出計画に基づいた金額で記載しています。

(2)2013年度予算書

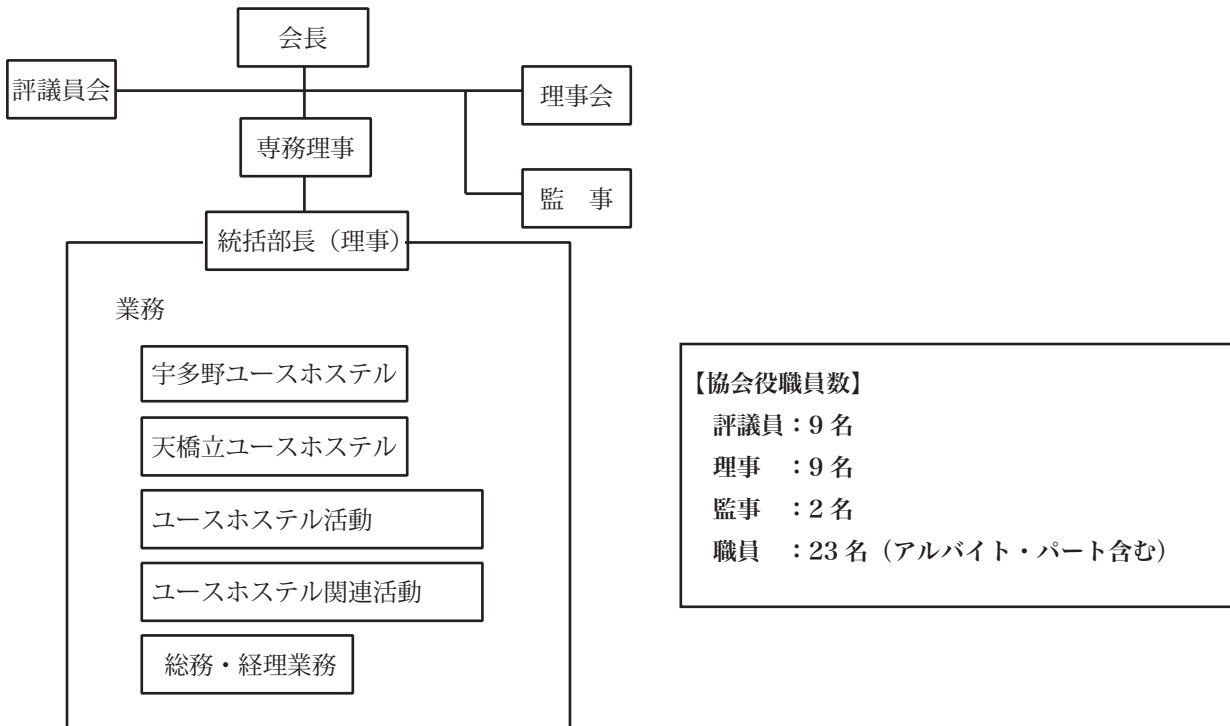
※ 「2013年度予算書」は別紙あり。

組織概要

I. 組織

業務の実体に応じて、担当をこえた機動的連携で仕事に取り組むことと、人件費・経費の圧縮をねらいとして、これまでの担当業務別組織を機動的組織に変更します。

II. 組織図



【協会名】	一般財団法人 京都ユースホステル協会
【代表者の役職氏名】	会長 堀場 厚
【財団設立】	1968年2月12日 ※2011年8月1日（一般財団法人への移行登記）
【協会所在地】	京都市右京区太秦中山町29 宇多野ユースホステル内
【電話番号】	075-462-2312（代表）